

最近の雇用情勢について

(平成29年8月)

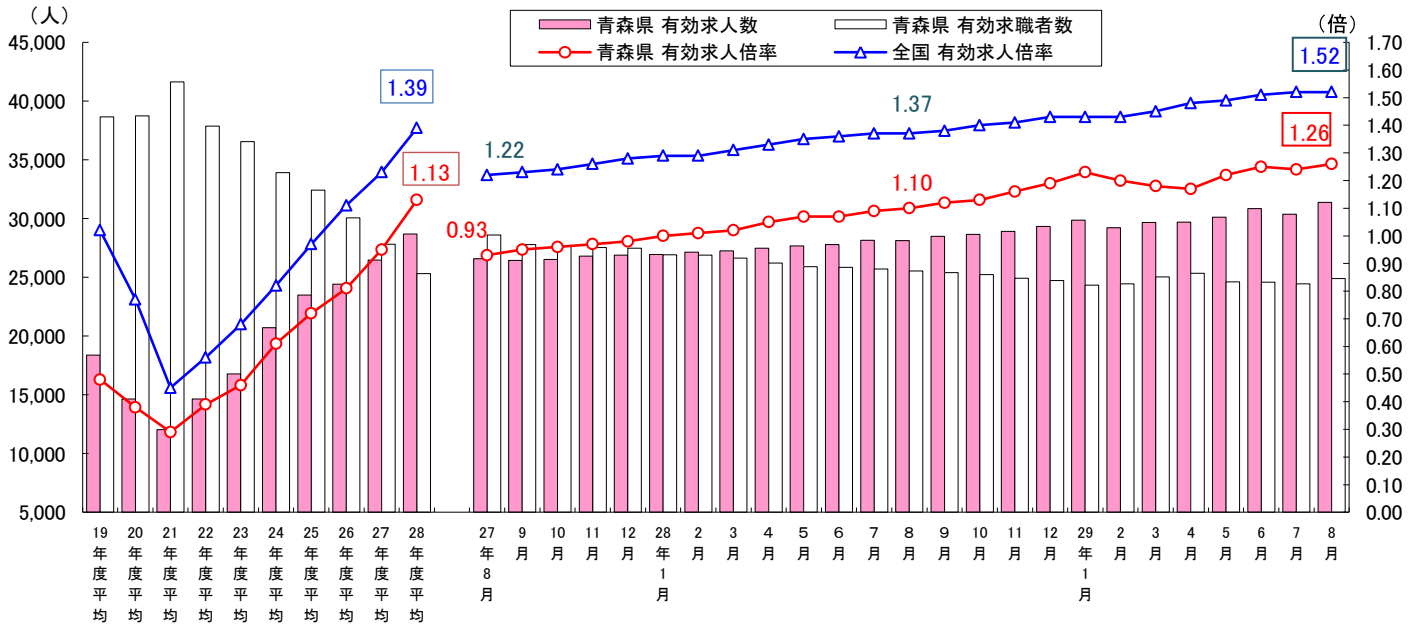
青森労働局

I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

8月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ3.4%増加し31,378人、有効求職者数(同)は1.9%増加の24,887人で、有効求人倍率(同)は1.26倍となり、前月を0.02ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は、1.34倍となり、前月を0.01ポイント上回り、受理地別の倍率を0.08ポイント上回った。

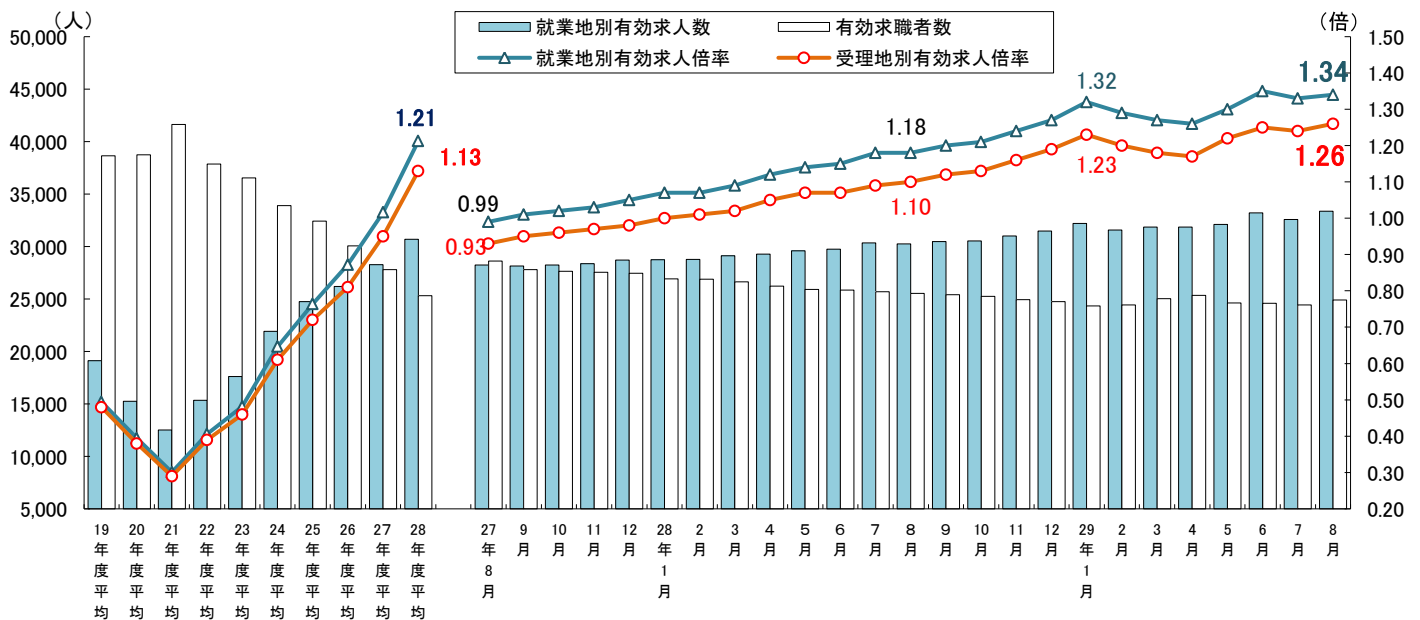
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



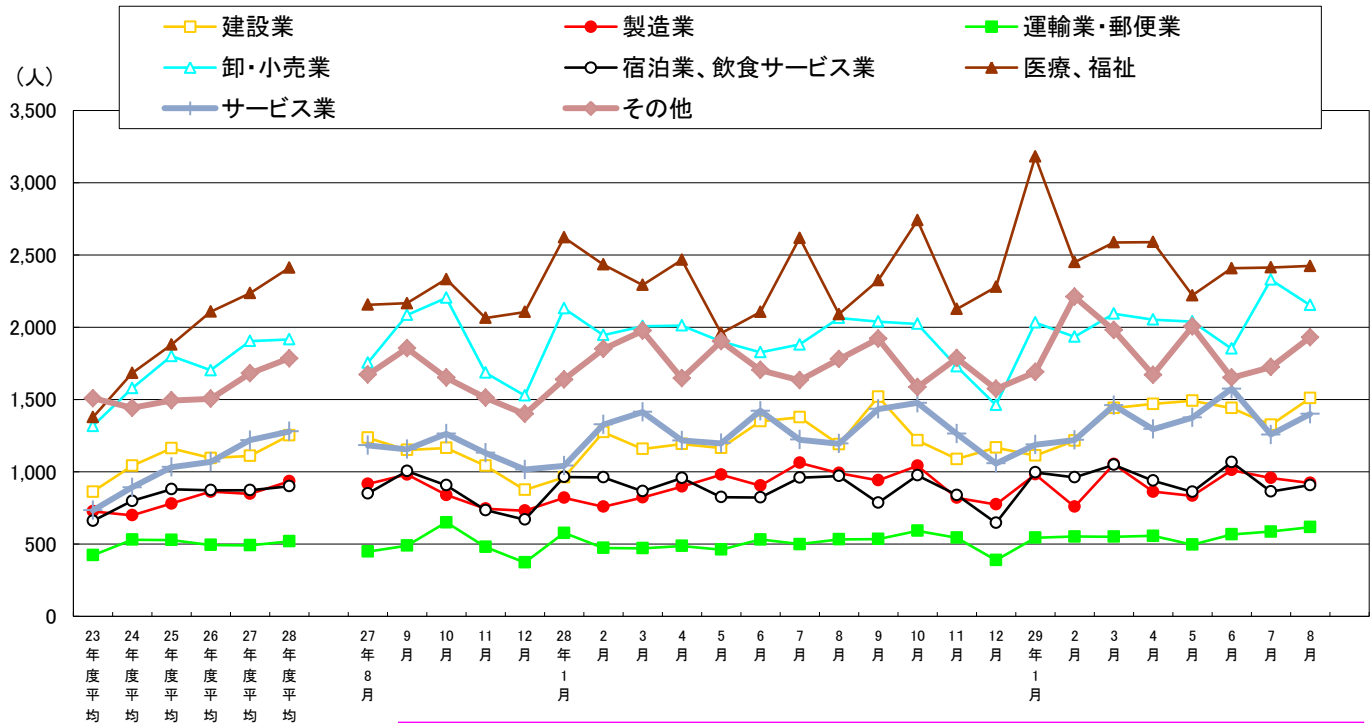
全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

8月の新規求人数(原数値)は前年同月比9.7% (1,053人) 増加、前月比3.6% (408人) 増加の11,861人。

産業別で前年同月と比較すると、建設業、運輸、郵便業、卸売、小売業、医療、福祉、サービス業等で増加し、農、林、漁業、製造業、金融・保険業、宿泊、飲食サービス業等で減少した。製造業では、繊維工業、鉄鋼、非鉄金属製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・関連業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で減少した。



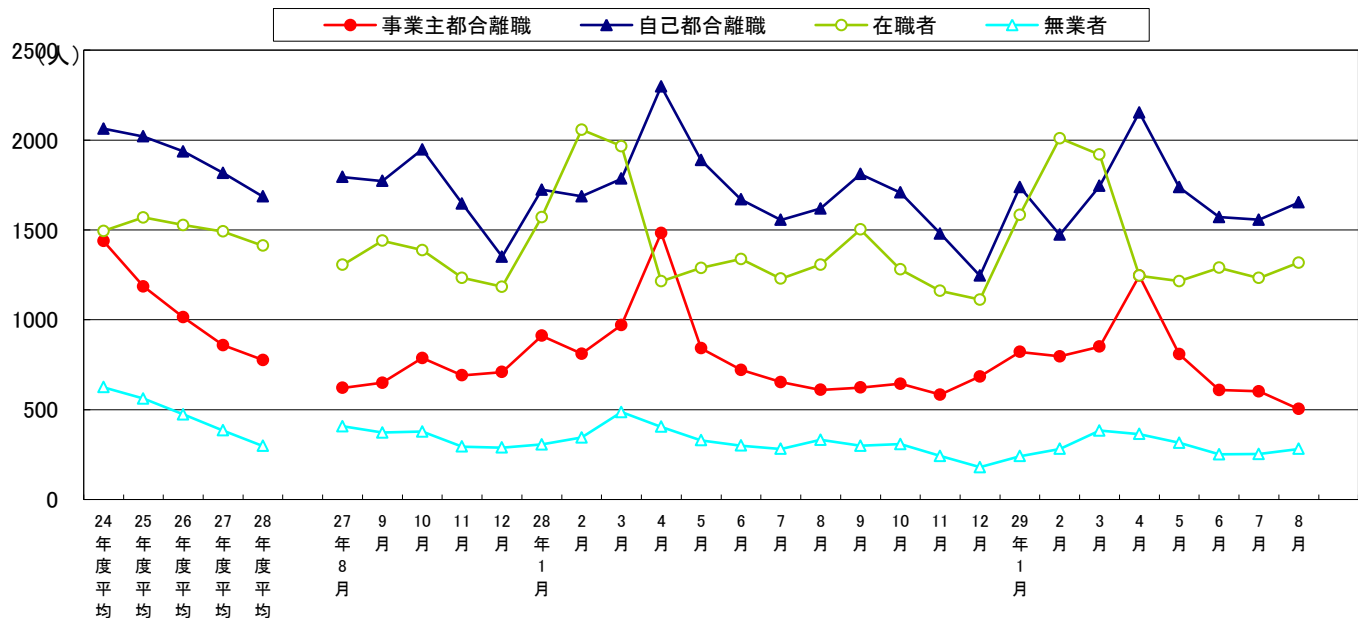
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

8月の新規求職者数は、前年同月比2.8% (110人) 減少、前月比2.8% (106人) 減少の3,828人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.8% (11人) 増加し、離職者は3.0% (70人) 減少、無業者は15.4% (51人) の減少となった。

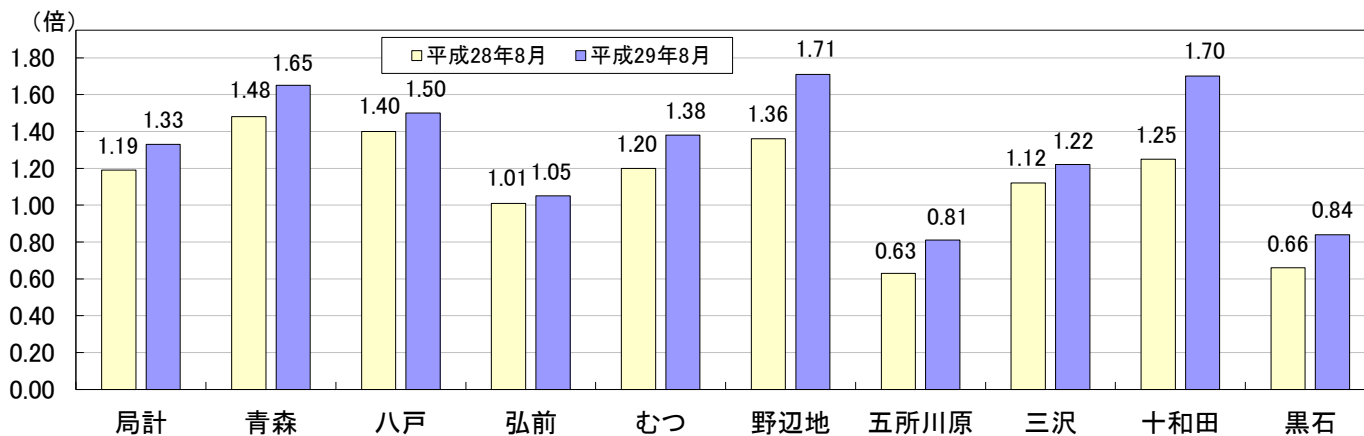
離職理由でみると、事業主都合は17.5% (107人) の減少、自己都合は2.1% (34人) の増加となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

8月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.33倍となり、前年同月を0.14ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



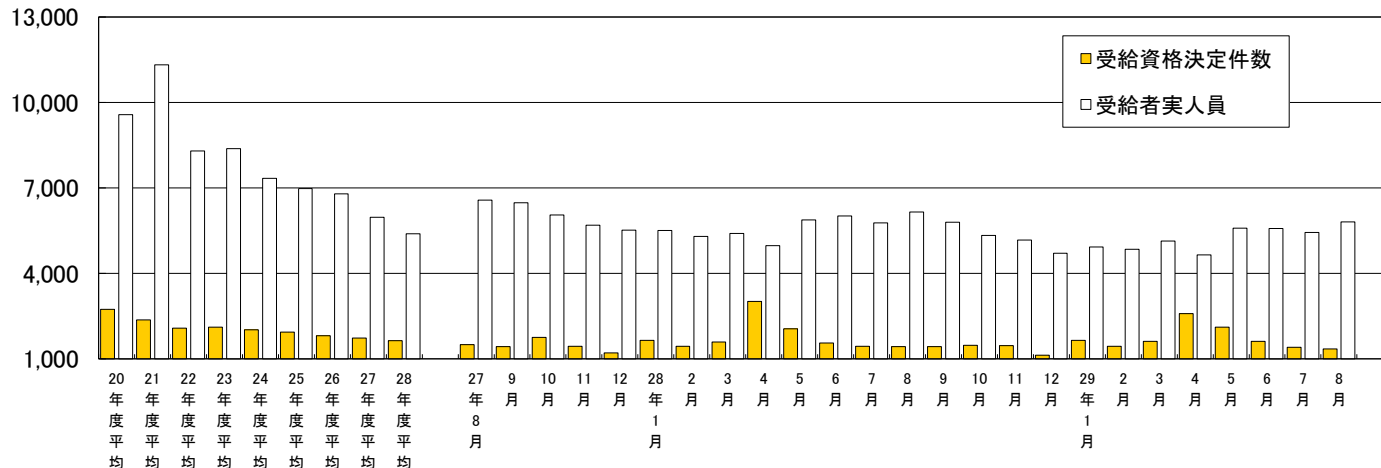
	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,369	5,714	5,147	4,907	1,061	700	2,213	1,246	1,019	1,362
有効求人数	31,165	9,440	7,700	5,165	1,460	1,194	1,800	1,519	1,737	1,150

V 雇用保険の状況

8月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比5.5%(341人)減少、前月比では6.8%(370人)増加の5,805人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比5.4%(76件)減少、前月よりも3.9%(55件)減少し1,344件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比29.5%(85人)減少、前月比23.1%(61人)減少し203人となった。

(人) 受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

